

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第7回研修を開催しました！

第7回の研修は、令和7年6月13日（金）と14日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて開催しました。

今回は、鳥獣害対策とにんじんの栽培についての講義と、電気柵の設置、にんじんの植え付け、実習野菜の栽培管理などの実習作業を行いました。

なお、今回の研修では、サージミヤワキ株式会社盛岡営業所から、須藤知生様、刈屋英志様を講師にお迎えし、鳥獣害対策や電気柵の設置について指導いただきました。

講義では、本県の農作物被害金額や起因獣害、獣害動物の習性、電気柵を使用した防護対策などについて解説していただき、農作物被害においては、果樹の花芽の食害等被害金額には現れない潜在的被害も多く、営農意欲の減衰につながるケースも多いとのことでした。また、電気

柵を使用しての防護対策については、なにより、電気柵は安全であること、防護策の中では費用対効果が優れている事を説明いただき、電気柵は『心理柵』であり獣害対策は「徹底的（常に）嫌がらせ」が重要である、とのことでした。

休憩のあと、電気柵の設置方法について指導いただきました。支柱とワイヤー、展張器を使用して実習ほ場の周辺に電気柵を設置したあとに、通電確認を行い、正常に稼働していることを確認しました。

次に、研修指導員の指導の下で、にんじんのは種を行い、実習を終了しました。

次回の第8回研修は、令和7年6月20日（金）及び21日（土）に雫石町南畑コテージむらにおいて、病害虫・雑草防除の実際とえだまめの栽培についての講義と、薬剤散布、えだまめのは種などを実習で行う予定です。



講義「鳥獣害対策」の様子



講師：サージミヤワキ株式会社盛岡事務所
須藤 知生 氏（左）と刈屋 英志 氏（右）



実習ほ場回りに電気柵を設置する受講生



にんじんをは種した畦にもみがらを散布する受講生